

広 報

2019年10月号

編集委員 江村公良 毛塚博行 南出美佐 前原直之

※11月のレセプト提出日は 11月7日(木)です

返戻を含む紙レセプト、猶予期間のフロッピーの提出はこの日をお願いします。
オンライン請求の場合でも、処方箋受付枚数・広域医療機関受付枚数の報告は継続してお願いしております。FAXでもよいのでよろしくお願いいたします。

※別添の「豊島区薬業協同組合」の広報もご覧ください

事業者用ごみ処理券の販売の案内もぜひご覧ください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) コンサータ錠の流通管理体制の変更について

コンサータ錠の承認条件が変更され、流通管理体制にも変更がありました。
別紙をよくご覧になり、体制をご確認ください。
ネットでもご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T190909I0030.pdf>
詳細についてはヤンセンファーマ株式会社にお問い合わせください。
ヤンセンファーマ株式会社 コールセンター
電話：0120-183-275
※受付時間：9:00-17:40（土・日・祝日・会社休日除く）

2) キャッシュレスの施策に関する追加案内

事業参加されている、あるいは参加予定の薬局は別紙をご覧ください。

3) 健康食品「ケトジェンヌ」の健康被害について

ケトジェンヌという名の健康食品で、下痢などの体調不良を訴える例が、短期間に急増しています。
薬局へ出入りされる方への注意喚起をお願いいたします。

健康被害の情報を得た際、あるいは既に情報を得ている場合には保健所へ、「健康食品等に関する健康被害受付処理票」にて、ご報告をお願いいたします。
(別紙参照)

4) <<OTC医薬品関連>>

一般用黄体形成ホルモンキット（一般用LH検査薬）の適正使用について

この検査薬についてリスク区分についての審議が行われ、引き続き、「第一類医薬品」とされることとなりました。つきましては、薬剤師による情報提供として以下の徹底をお願いします。

- メーカーから提供されるチェックシートを活用すること
- 避妊目的では使用できないことの説明
- 結果に応じ、医師への受診を勧めること

5) <<OTC医薬品関連>>

濫用のおそれのある一般用医薬品の販売について

平成30年度厚生労働科学研究費分担研究「全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査」において、薬物関連精神疾患患者に対して主に使用した薬物を調査したところ、一般用医薬品とする回答が一定数存在したことが報告されました。
つきましては、販売の際、以下の点、お願いいたします。

1. 適正使用のための情報提供等について

「濫用等のおそれのある医薬品」を販売する際、複数購入しようとする場合には、その理由を確認し、適正な使用のために必要と認められる数量に限り販売すること。
不適正な使用のおそれがある場合には、その使用によって依存が生じる可能性があること等についての必要な情報提供や確認を行うこと。

2. 副作用等報告の実施について

一般用医薬品の服用をやめようとしてもやめることができない事例等を把握した場合で、必要があると認める時は薬機法に基づく副作用等報告を行うこと。
なお、薬局等が副作用等報告を行うに当たり、既に医師の診断が行われていたことを知ったときは、診断を行った医療機関との情報共有の上、報告するよう努めること。

6) <<OTC医薬品関連>>

平成30年度医薬品販売制度実態把握調査結果について

医薬品販売制度実態把握調査は、要指導医薬品・一般用医薬品の販売にあたり、消費者の立場から制度の定着状況等を点検・調査し、医薬品販売の適正化につなげることを目的として、平成21年度から毎年実施されているものです。(消費者側を調査しています。)
今回の調査結果によると、「従業員の名札等により専門家の区別ができた」は88.4% (前年調査79.7%。以下、同じ)、「要指導医薬品販売時における使用者についての状況の確認がされた」は91.4%(86.9%)となり改善されたものの、第一類医薬品における「情報提供された内容を理解したかどうか等の確認があった」は67%(73.6%)、第二類医薬品等における「濫用等のおそれのある医薬品を複数購入したときの対応が適切であった」は52%

(61.3%) と悪化しており、この遵守率の低下は目に余るもので非常に危惧する事態です。また、インターネット販売については、第二類医薬品等の相談における「相談に対応したものの資格が薬剤師または登録販売者であった」や「濫用等のおそれがある医薬品を複数購入したときの対応が適切であった」の項目において、前回に比べて改善されたものの、引き続き遵守状況が低い状況です。

医薬品販売制度は、国民が安全・安心に要指導医薬品や第一類医薬品等を使用するためのものであり、そのためには、販売する薬剤師が当該法令に基づいて、必要な確認や情報提供等を行い、法令遵守を徹底することは不可欠です。薬剤師が法令遵守を怠ることで、国民の安全・安心な医薬品の使用を貶め、医薬品へのアクセスを阻害し兼ねない、延いては医薬品の安定供給に関して危機的な状況を招く可能性があります。また、このような状況が続くようであれば、薬を取り扱う専門職である薬剤師の存在意義をも危うくし、要指導医薬品や第一類医薬品等の販売の問題だけでなく、処方箋に基づく調剤の信頼性にまで影響を及ぼしかねません。

7) 「在宅服薬支援マニュアル」における 令和元年度調剤報酬改定等反映について

日本薬剤師会では、在宅業務の推進に資するため、これから在宅業務に取り組む薬局・薬剤師向けに「在宅服薬支援マニュアル」を作成し、本会ホームページ（会員向けページ）を通じて公表しております。このほど、下記のとおり令和元年度調剤報酬・介護報酬改定を踏まえ、平成30年5月版を一部修正し、ホームページに掲載されましたのでお知らせいたします。

8) 令和元年度在宅医療ホップ・ステップ・ジャンプ研修会開催のお知らせ

都薬では、今後の在宅医療に参画する意思はあるものの、いまだ取り組めていない薬剤師の支援を目的とした「在宅医療ホップ・ステップ・ジャンプ研修会」を開催することといたしました。この研修会では、在宅訪問に必要な基本的知識や書式類、在宅で扱う医療材料の取り扱い等をわかりやすく解説しその後の円滑な在宅業務に活かしていただきたく、3日間の連続したプログラムを企画しています。

(別紙参照)

9) ポスター掲示のお願い

里親制度PRポスターを配布いたします。掲示をお願いします。

豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 高齢者の服薬情報提供事業へご協力のお願い（10月より実施）

既にお知らせの通り、この度当会では豊島区との共同事業として「高齢者の服薬情報提供事業」を今月より開始しておりますが、会員の先生方におかれましてはご協力いただけますようお願いいたします。

残薬バッグにつきましては、一薬局7枚ずつ配布いたしました。バッグの追加をご希望の場合は、池袋あうる薬局または事務局までご連絡ください。

また、10月分の報告をFAXにてお願いいたします。

2) 【再掲】豊島区薬剤師会ホームページをぜひご覧下さい

ホームページの内容が充実してきました。今後もより良いページを作りたいと思います。

(FAXや配布物などはいままで通りです。)

ホームページアドレス <http://www.toyoyaku.jp/>

会員専用ページに入るには、パスワード「 t o s h i m a 」を使ってください。

会員入会

名古屋 直子 (A) 西池薬局ホテルメトロポリタン店 西池袋1-6-1

会員退会

高田 由起子 (A) ひのき薬局雑司ヶ谷店

会員数報告

A会員 110名
B会員 21名
賛助会員 2名
合計 133名

保険部より

1) 医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて

医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いに関するものです。

8事例が追加されました。

同事例は、支払基金ホームページに掲載されています。

○支払基金ホームページ (審査情報提供事例)

<http://www.ssk.or.jp/shinryohoshu/teikyojirei/yakuzai/index.html>

例

○アシクロビル内服薬をベンダムスチン塩酸塩使用時の帯状疱疹の発症抑制として処方した場合

○インドメタシン ファルネシル内服薬を好酸球性膿疱性毛包炎に対して処方した場合

2) 【再掲】保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用のページを設けております。

下記URLよりGRIDYログインページに入ってください、記載されている保険部閲覧用共有アカウントでログインして閲覧してください。

URL : <https://gridy.jp/login>

ID : toshima.hokennbu@gmail.com

PASS : toshima

学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

11月の勉強会は

日時：令和元年11月21日（木）19：45～21：30

場所：としま産業振興プラザ（IKE・Biz）6F 多目的ホール

内容：「最近のインフルエンザの話題」

講師：慶應義塾大学医学部 小児科学教室

専任講師 新庄 正宜 先生

☆今回の勉強会は日本薬剤師研修センターの認定単位となります。

☆FAXのみの受付となりますので、参加希望の会員は当会事務局まで参加申込書をFAXで送信してください。

☆参加受付開始日： 11月1日（金）これ以前にFAXされても対応できません。

☆会場準備の関係上、参加人数を事前申し込み先着100名までといたします。定員に達した時点で受付を終了させていただきます。

☆7月より、公益財団法人日本薬剤師研修センターが発行しております研修受講シールの取扱いが変わりました。認定シールをご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願い致します。（過去に提出されていれば結構です。）

薬学生実務実習関係

1) 【再掲】東京都薬剤師会 ‘学生向け’ 「とやく携帯メルマガ」 配信のお知らせ

東京都薬剤師会では、薬学生が、卒業後「東京都薬剤師会に入会しよう」という動機づけとなることを期待して、携帯電話によるメールマガジンの配信を開始します。実務実習受入薬局には案内ポスターを配布いたしますので、薬学生への案内をお願いいたします。なお、学生対象ですが、会員への配信も可能です。

池袋あうる薬局輪番

11月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

お願い ～輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

11月	日 勤 9:00 ~ 16:30		準 夜 16:00 ~ 22:00	
			受付事務入力兼任	
2日(土)			つばさ薬局	北池薬局
3日(日)	ヒバリ薬局	こまごめ薬局	雄飛堂トキワ通り店 上池袋薬局	ことり薬局
4日(月)	いろり薬局東長崎店	さの薬局	駒込中央薬局 めぐみ薬局	あうる薬局
9日(土)			平和通り保健薬局	ことり薬局
10日(日)	こまごめ薬局	あうる薬局	あかまつ薬局	駒込中央薬局
16日(土)			チチブ薬局	ことり薬局
17日(日)	ヒロ薬局下板橋店	つばさ薬局	チチブ薬局	ことり薬局
23日(土)	サン薬局ときわ通り店	さの薬局	上池袋薬局 春日通薬局	あうる薬局
24日(日)	つばさ薬局	佐藤薬局	平和通り保健薬局 雄飛堂トキワ通り店	駒込中央薬局
30日(土)			かもめ薬局	北池薬局

長崎休日診療所派遣

11月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

11月	
3日(日)	長崎調剤薬局
4日(月)	椎名町薬局
10日(日)	椎名町薬局
17日(日)	大澤第一薬局
23日(土)	エンゼル薬局
24日(日)	長崎調剤薬局

医薬品・情報管理センター報告

○管理センター売上及び仕入

2019年9月売上金額 ¥4,478,092-
2019年9月仕入金額 ¥4,230,789-

○相談件数

9月	件数
薬局からの在庫確認	142
薬局からの処方箋応需	12
患者からの処方箋応需	1
医療用医薬品についての相談	12
医療機関の紹介	2
一般用医薬品についての相談	1
その他	11
合計	191

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

9月 休日夜間 267枚
その他 388枚

○情報発信

ポリファーマシー解消への国の最近の動きについて

ポリファーマシー解消は喫緊の課題の一つです。

今回は9月18日の中央社会保険医療協議会で協議された内容を下記に取り上げてみました。

【NEWS】 厚労省、ポリファーマシー対策で評価案を提示

多剤投与などで有害事象を引き起こす「ポリファーマシー」対策について、厚労省は減薬の結果といったアウトカムへの評価だけでなく、そのプロセスも評価する方針を固めた。9月18日の中央社会保険医療協議会で、次期診療報酬改定に盛り込む考えを示した。

2016年度の診療報酬改定では、多剤投薬の患者の減薬を伴う指導への評価として、「薬剤総合評価調整加算」（250点、退院時1回）が新設された。これは、入院前に6種類以上の内服薬が処方されていた患者の処方内容を、医療機関が総合的に評価した上で薬剤を調整し、その患者の退院時に処方薬剤数が2種類以上減った場合などを評価するもの。

しかし、2020年度改定に向けた中医協の第1ラウンドでの議論では、「処方箋1枚当たりの種類薬の制限や2剤の減薬はポリファーマシーの根本的な解決にならない」との指摘や、入院時でのポリファーマシーへの取り組みとして病院薬剤師の役割が重要だといった意見が出されていた。

こうした点を踏まえて厚労省は18日の総会で、入院時のポリファーマシーの解消に向けた論点案を提示した。それによると、入院時は処方の一元的な管理や処方を変更した後の患者の状態確認が可能であることから、「処方薬剤の総合調整の好機」だと強調。現状では2種類以上の減薬が行われた場合について評価しているが、入院時に処方薬剤を総合的に調整する取り組みを促すため、減薬の結果だけでなく、処方薬剤を総合的に評価・調整する取り組みへの評価を検討することを提案した。さらに、退院時に処方薬の変更や処方中止の理由を地域で共有するのを促すため、医療機関が薬局に情報提供した場合の評価も提案した。

【NEWS】 重複投薬の解消、「主治医や薬局が果たす役割大きい」（厚労省）

高齢者などが複数の医療機関を受診することで起こる重複投薬を防ぐため、厚労省は9月18日の中央社会保険医療協議会で、医療機関などが患者の服用薬剤の把握などで他と連携して取り組んだ場合などを診療報酬で評価する案を示した。

患者が同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関から処方される重複投薬を防ぐために、現在は複数の医療機関を受診する患者にお薬手帳が活用されているが、医療機関で重複投薬をチェックする場合は複数のページを確認する必要があるなど、一定の注意が必要になる。

こうした現状などを踏まえて厚労省は、重複投薬の解消に向けた論点案を提示。解消への取り組みをさらに進めるには、患者の服用薬の把握や処方薬の総合的な評価・調整が重要だと指摘し、これらを円滑に行うための対応や連携についての評価を検討する考えを示した。

厚労省保険局の森光敬子医療課長は、「重複投薬が生じる背景には患者の認知機能の低下などがあることから、それを解消するには主治医や薬局が果たす役割が大きい」と指摘。どのような方法で重複投薬を解消するのかを整理した上で、次回以降の会合で対応策を提示する考えを明らかにした。

この日の中医協では、幸野庄司委員（健康保険組合連合会理事）が「薬局は減薬や重複投薬について医療機関への働き掛けが少ない。まずは、薬局や薬剤師がこうした本来業務をしっかりとやる必要がある」と指摘。重複投薬を解消するために他と連携した場合の評価は時期尚早との考えを示した。

医療人による医療施設のための会員制サービス「プリメック」より

10月より豊島区では「高齢者の服薬情報提供事業」が始まります。

上記の内容から国の薬剤師に対する期待の大きさが窺えると思いますので、結果を出していくことの重要さを感じました。

○管理センターよりのお知らせ

10月から消費税増税に伴い送料が以下の通り改定となりました。

レターパック 510円 → 520円

ゆうパック 680円 → 690円

なお、投薬瓶や軟膏容器、点鼻容器等の価格は据え置きとなります。

新しい発注書を添付いたしますのでこちらをご利用ください。

こちらの発注書に関しましては当会ホームページからダウンロードすることもできます。

ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

10月14日に保健所の移転に伴い池袋あうる薬局も移転となりました。

新しい住所は

「豊島区東池袋4-42-16 池袋保健所1階」です。

よろしく願いいたします。

広域病院処方せん受付状況報告

	都立大塚		豊島病院		長寿医療センター	
	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
9月	1,323	1,423	69	85	76	100

理事会報告

2019年10月16日（水）午後8時30分より豊島薬業会館1階会議室にて理事会が開催されました。

出席者：遠藤会長 佐野副会長 伊原副会長 佐藤副会長 黒須副会長 江村常務理事
田崎常務理事 毛塚常務理事 元谷常務理事 前原常務理事 林理事 内山理事
南出理事 原嶋理事 小林理事
大澤監事 田中監事

○前月分理事会議事録承認

○報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会会長会」報告
2. 学術・D I担当報告
3. 防災公衆衛生担当報告
4. 総務・会計担当報告
5. 保険担当報告
6. 地域医療担当報告
7. 池袋あうる薬局担当報告

○協議事項

1. 新会員入会承認の件
西池薬局メトロポリタン店の入会が承認された。
2. 用紙手帳販売価格の件
事務局・池袋あうる薬局で販売している研修手帳及び処方箋破棄用段ボールの価格を協議した。
3. 麻薬ネットワークの件
これまでの池袋あうる薬局からの譲渡のみという形から、参加薬局間同士の取引の許可について承認された。
4. 池袋あうる薬局での調剤における軟膏壺及び投薬瓶料金の徴収の件
池袋あうる薬局での調剤における軟膏壺及び投薬瓶料金の徴収を行わないことが承認された。
5. 薬剤師会ホームページへのデッドストックメーリングリスト掲載の件
薬剤師会ホームページへのデッドストックメーリングリスト掲載について承認された。

○審議事項

1. 豊島区長宛予算要望案の件
豊島区長宛予算要望案について微調整をしたうえで完成させていくことが承認された。
2. 報酬・出勤費に関する内規案の件
報酬・出勤費に関する内規案について承認された。
3. 慶弔見舞金規程案の件
慶弔見舞金規程案について承認された。

4. 豊島区薬剤師政治連盟との覚書案の件
豊島区薬剤師政治連盟との覚書案について承認された。
5. 豊島区学校薬剤師会との覚書案の件
豊島区学校薬剤師会との覚書案について承認された。
6. 豊島薬業協同組合との合意書案の件
豊島薬業協同組合との合意書案について承認された。

豊島区薬剤師会の活動（9月）

- 9 / 1 東京都医師会 在宅療養推進研修プログラム
- 2 広域における災害時情報共有試験
- 3 公益社団法人 定期立入検査
- 5 池袋あうる薬局運営委員会
- 6 第1回 自殺・うつ病の予防対策委員会
- 7 豊島区 災害医療図上訓練
東京都薬剤師会 地区及び職域薬剤師会会長会
- 8 豊島区薬剤師会 区民公開講座（豊島区地域保健課と共催）
- 9 レセプト受付
- 12 豊島区 第1回新型インフルエンザ等対策「個人防護具（PPE）着脱訓練」
- 18 豊島区薬剤師会 理事会
- 19 豊島区薬剤師会 学術勉強会
- 20 豊島区 第2回新型インフルエンザ等対策「個人防護具（PPE）着脱訓練」
- 26 ふくろうの杜圏域多職種連携の会
- 27 学生実務実習 集合研修会
- 28 豊島区薬剤師会 第1回地区研修会
- 29 豊島区薬剤師会 レクリエーション

医薬品分割販売利用案内

令和元年10月

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することになりました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いします。

1. 分割販売品目

医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料

豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハップ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

3. 販売価格

医薬品	薬価（消費税込）
その他（医療材料等）	取扱品目リストに掲載

4. 手数料

豊島区薬剤師会 会員	無 料
区外 東京都薬剤師会 会員	1回 110円（消費税込）
その他医療機関	1回 2200円（消費税込）

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください受領印もしくは自署をお願いいたします。
品質管理上、返品はできません。
ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。

※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。
2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

- 注文方法 : 専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文下さい。
(電話での注文はお受けしていません。)
- 受付時間 : 9時 から 16時30分 月曜日～土曜日
- 受取時間 : 9時 から 17時 月曜日～金曜日
9時 から 21時30分 土曜日・日曜日・祝日

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。(ホームページでご確認ください)
※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写しをご提出いただきます。
また、都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもご提出下さい。
なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。

その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。
その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

- * 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては下の要望書に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。
- * 集計管理上、1枚1品目とし、複数の場合はコピーしてお使いください。

.....(きりとり).....

医薬品管理センター取り扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名 _____ 印 _____

以下の製品の取り扱いを要望します

製品名	規格
<hr/>	

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）

	製品名	小分単位	備考
内	キョウベリン錠100	錠	
内	硝酸イソソルビド徐放カプセル20mg「ZE」	C	
内	タンドスピロンクエン酸塩錠10mg「サワイ」	錠	
内	パルモディア錠0.1mg	錠	
内	ルーラン錠4mg	錠	
内	レスタス錠2mg	錠	
外	カトレップパップ70mg5枚	袋	
外	トブラシン点眼液0.3%5ml	本	
外	パルデスローション0.05%10g	本	
外	パンドルローション0.1%10ml	本	
外	ホスミシンS耳科用3%10ml	本	
外	ボルタレンテープ15mg7枚	袋	

* 取り扱い中止

	製品名	備考
内	イーシー・ドパール配合錠	
内	カリアントSRカプセル20mg	
内	カリジノゲナーゼカプセル25単位「日医工」	
内	クエンメット配合錠	
内	シンメトレル細粒10%	
内	バクシダール錠100mg	
内	ボグリボースODフィルム0.3「QQ」	
外	イクセロンパッチ9mg	
外	スピラゾンローション0.3%	
注	ノボラピッド30ミックス注フレックスペン	